

BRUNELLO
CUCCINELLI
IL SOGNO
SOLO
MEO

ブルネロ・クチネリ

A cura di Massimo de Vico Fallani

いわさきはるお
岩崎春夫
[編訳]

La mia vita e l'idea del capitalismo umanistico

に ん げ ん し ゅ ぎ て き
人間主義的
け い え い
経営

ソ ロ メ オ の 夢
私 の 人 生 と 人 間 の た め の 資 本 主 義

COPYRIGHT © GIANGIACOMO FELTRINELLI EDITORE
MILANO SRL FIRST PUBLISHED AS IL SOGNO DI SOLOMEO
BY BRUNELLO CUCINELLI IN SEPTEMBER 2018
JAPANESE TRANSLATION RIGHTS ARRANGED
WITH GIANGIACOMO FELTRINELLI EDITORE
MILANO SRL c/o TUTTLE-MORI AGENCY, INC., TOKYO

序文

ブルネロ・クチネリは、1953年、ウンブリア州ペルージャ郊外の村、カステル・リゴーネの農家に生まれました。

1978年、色鮮やかなカシミヤセーターを製造する小さな会社を立ち上げ、事業の目的を、倫理的にも経済的にも人間の尊厳を追求することと決めました。

1982年、ウンブリアの小さな村、ソロメオに移り、そこを「人間のための資本主義」を実現する場所と決めました。3年後には廃墟となっていた村の古城を買い取り本社としました。

2000年、村外れの古い工場を買い取り、そこを改修して事業の拡大に合わせた新たな生産体制を整えました。

2012年、ブルネロ・クチネリ社はミラノ証券取引所に上場しました。同年、若者たちが技術を身につけ誇りを持って働くことを願い、本社のある城の一角に職

人学校を設立しました。

ソロメオ村の豊かな暮らしを取り戻すため、村を修復し、文化、芸術、人々の交流を促進するために、彼は、劇場、図書館、公園などの施設を整備しました。

人間の尊厳と自然との調和を事業の目的に掲げる、ブルネロ・クチネリの「人間のための資本主義」は、イタリア国内に限らず広く海外からも注目され、カヴァリエ・デル・ラヴォーロ（イタリアの実業家の功績に対し与えられる騎士勲章）、ペルージャ大学人間関係哲学および倫理学名誉学位、キール世界経済研究所グローバル経済賞、イタリア共和国への貢献を称えるカヴァリエ・ディ・グランクロッチェ（大十字騎士勲章）など、数々の賞を受賞しています。

原書である『ソロメオの夢。私の人生と人間主義的資本主義の考え』は、農村生活と哲学の中に見出した人間主義的な価値のもと偉大な企業家になるという、一人

の農民の夢です。

旧市街を蘇らせ、周辺地区を高貴なものにできることを証明するという夢でもあります。

ブルネロ・クチネリは、彼独自の歩みの中で、古代ギリシャ人が謳う人間の意義を反芻し、日々それに則り知恵と善行を探求しています。

彼の指標は経済的倫理的な側面における人間の尊厳であり、その旅路を導く基点は、大切に守られる美、若者に愛される年輪を重ねた人やもの、恩恵につながる豊かさ、本当に偉大なものの簡素さです。

こうして自然と人間と夢への志を尊重することから「正しい労働」という概念が生まれます。これが「人間主義的資本主義」です。

文中では、過去の賢人たちによる静寂と瞑想の追求、そして、孤独にならないための唯一の条件とも言える記憶や思索に満ちた輝かしい孤独の希求が綴られています。

IL SOGNO DI SOLOMEO

人間主義的経営 目次

ソロメオ、精神の宿る村 13

幼年時代 27

私の心の大学 69

カシミヤの彩り 95

世界へ 137

親愛なる匠たち 177

輝く未来 207

創造物との対話 217

心の中の揺るぎないもの 229

日々の印象 237

訳者あとがき 253

私の尊敬する日本の友人たち

拙著『イル・ソグノ・ディ・ソロメオ』の日本語版を出版することができたことは、私にとって本当に嬉しく光栄なことです。私が生まれて商売を作りながら住んでいた村は、皆さんの村と人間的には変わらないので、私の贈り物が民族を束ねる古来からの友情の証になればと思っています。私たちがイタリアの土地、繊細で洗練された風景、牧歌的な絵画、古代の劇場、儀式を愛しているように、あなたはイタリアを愛しています。

私は心の底から感謝し、すべての人々を待ち受ける富の未来の展望の中で、あなたが世界に与え、与え続けてきたすべてのもののために、私はあなたを輝かしいインスピレーションの源として見えています。

Miei stimatissimi amici nipponici,

è per me una vera gioia e un onore poter pubblicare un'edizione del mio libro *Il Sogno di Solomeo* in lingua giapponese. Il borgo dove sono nato e ho vissuto costruendo la mia impresa non è umanamente diverso dai vostri borghi, e vorrei che il mio dono fosse segno dell'antica amicizia che unisce i nostri popoli. Voi amate l'Italia proprio come noi amiamo la vostra terra, i vostri delicati e raffinati paesaggi, la vostra pittura idilliaca, il vostro teatro antico, i vostri riti.

Grazie di cuore, guardo a voi come a una fulgida fonte di ispirazione per tutto quello che avete donato e continuate a donare al mondo nella prospettiva di un avvenire di ricchezza che attende ogni popolo.

愛する娘たちへ

夢を描こう。その夢は、きみたちの時代だけでなく、未来のすべての人々の幸福のための夢でなければならぬ。

しかし、時には困難な日々が訪れるだろう。その困難は、頭では理解できても、苦しみは心を去らず、容易に拭い去ることができないかもしれない。そんな時は、ひとりで家から出て、豊かな自然に身を委ね、果てしない大空を見上げてみるといい。

悠久の自然の偉大さに、神の存在を感じるはずだから。夜になれば、きらめく星の光が傷ついた心に静けさと安らぎをもたらしてくれるから。

私は世界の美に
果たすべき責任を感じた

ハドリアヌス帝



市民の描写

14世紀 ビアダイオーロの写本の師による細密画
(フィレンツェ、ロレンツォ・メディチ図書館)